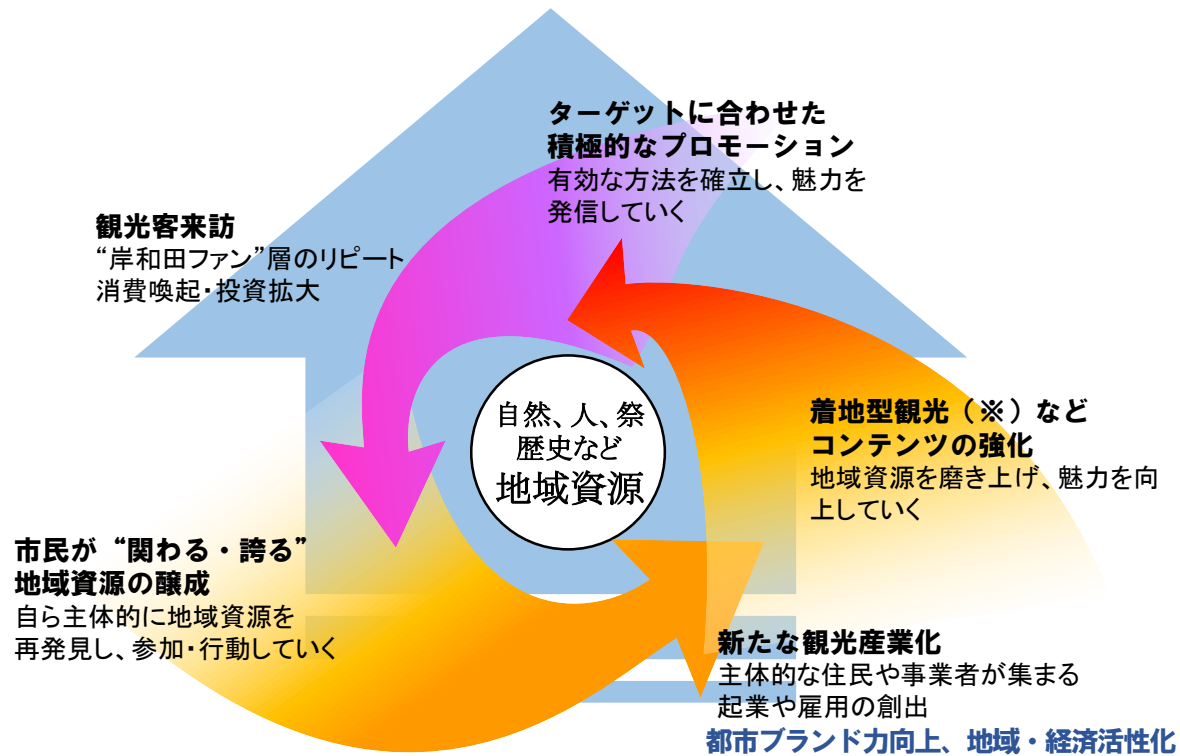


1. 基本方針 目指す姿とスローガン

観光振興で目指す姿
 <第2次岸和田市観光振興計画の基本的な考え方>
地域資源の魅力を再発見・深化し、さらなる賑わいを創造する。



第2次岸和田市観光振興計画のスローガン

「人情・伝統・ふれあい」のまちづくり観光 (岸和田市観光振興計画)
市民が誇れる“おもてなし観光” (第2次岸和田市観光振興計画)
気になるまち きしわだ 来ちゃって・教せちゃって

「気になるまち」は、岸和田市に行ったことはないが名前は知っている人が多い状況を表現しました。「来ちゃって・教せちゃって」とは、岸和田弁で、「来てあげてください・教えてあげてください」を意味します。岸和田市以外の人には、「岸和田市へ来てくださいね」、市民の人には、「来てくれた人に岸和田の良いところを宣伝してあげてくださいね」という思いを込めています。

2. 行動計画の設定年(平成29年3月時点/年号のみ修正)

平成29年度 2017	平成30年度 2018	令和元年度 2019	令和2年度 2020	令和3年度 2021	令和4年度 2022	令和5年度 2023
		岸和田市まちづくりビジョン <第4次岸和田市総合計画>				次期計画 (想定)
第2期戦略計画 (平成27年度～30年度)		第3期戦略計画 (令和元年度～4年度)				
		第2次岸和田市観光振興計画 <平成29年度～令和5年度の7年>				
		検証・調整				
第1期 行動計画推進			検証・調整			
			第2期 行動計画推進		検証・調整	
					第3期 行動計画推進	

3. 第2期行動計画遂行に向けての要因変化

時間軸と新たな課題

1.東京オリンピック・パラリンピック(2020年)、ワールドマスターズゲームズ関西大会(2021年)、岸和田市制施行100周年(2022年)、大阪万博(2025年)と大型催事が連続するなか、第2次岸和田市観光振興計画では収まり切れない状況変化がある。対応すべきは、**テーマの選択集中とスピード感のある企画、運営**が求められる。

2.計画遂行に関しては岸和田市観光振興計画推進委員会はもとより、岸和田市魅力創造部観光課、関連団体などだけでは困難と考えられる。第2期行動計画においては、民間委託手法を含め事業推進の主体となる組織の構築を検証する。

方向性	基本方針	＜第1期行動計画＞	＜第2期行動計画＞
総合課題: ターゲットの明確化	1.ターゲット属性の仮設を立て、行動計画に反映	ターゲット分析、動態調査 ＜第1期＞各方面のデータ、統計を集め、岸和田への観光客のターゲットを設定する。	＜第2期＞アンケート調査を通じて、市内宿泊施設や観光施設などにおける観光客の動向を把握分析することで、ターゲットに応じた観光施策を検証し実施する。
		宿泊施設 ＜第1期＞大阪府民泊条例や岸和田市ホテル・旅館誘致条例を含め経済効果の側面、動向や市場ニーズを見据えつつ調査研究を進める。	＜第2期＞東岸和田駅周辺でのホテルの開業や、牛滝地区の温泉・宿泊施設が民間運営になるなど、岸和田市内における宿泊施設に変化があった。引き続き、民泊を含めた宿泊施設を考慮しつつターゲットの明確化に向けて調査研究を進める。
個別課題A: コンテンツの充実	2.インバウンド観光の推進	インバウンド向けインフラについての調査研究 ＜第1期＞二次交通、Wi-Fi、手荷物預かりなどについての調査研究を進め、受入環境の整備を推進。	＜第2期＞岸和田城周辺（岸和田城、岸和田だんじり会館、きしわだ自然資料館）においてWi-Fiが整備された。引き続きWi-Fi設置のニーズを調査研究する。 Wi-Fi環境や手ぶら観光、多言語の案内サインの整備等、受け入れ環境を整備することにより、外国人観光客の利便性や周遊性の向上を図る。 ＜第2期＞岸和田城では歴史展示や兜・陣羽織試着体験などの取り組みを実施し、外国人観光客集客実現に向けての施策を進めている。サムライ・忍者といった外国人観光客に人気のあるキーワードに結び付くことができる城の活用を推進する。 茶道や和菓子といった日本文化を活用するにあたり、他地域との差別化を図った岸和田らしさや特別感を演出することで外国人観光客の誘客に取り組む。
	3.体験交流型観光の推進	だんじり文化を活用した体験プログラムの開発 ＜第1期＞だんじり彫刻、ミニだんじり製作、鉦・太鼓などのだんじり囃子体験といったプログラムを開発する。	＜第2期＞だんじり文化（彫刻・だんじり囃子など）を活用した様々な体験プログラムが開発・実施されている。世界に誇るだんじり文化を観光振興の観点でとらえ活用を続けていく。 農業や漁業に触れる機会の創出やまち歩きを通じた観光資源を活かした体験プログラムを充実させ、地域の活性化につなげる。
		観光資源を活かした体験プログラムの開発 ＜第1期＞農作物の収穫体験やまち歩きなど、コンテンツを充実させる。	＜第2期＞自転車を活用したサイクルツーリズムや剣道・居合道を中心とした武道ツーリズムについて、商品化を検討していく。2021のワールドマスターズゲームズに向け具体化させる。

方向性	基本方針	＜第1期行動計画＞	＜第2期行動計画＞
同上	4. お土産、食などの充実と地域活性化	<p>岸和田ブランド(の活用) ＜第1期＞岸和田ブランドを観光資源として活用し、経済活性化へとつなげていく。</p> <p>「岸和田ならではの」のお土産開発 ＜第1期＞だんじりグッズや地元ならではの菓子などをお土産として情報発信し、販売促進につなげる。</p> <p>水産物・農産物の活用 ＜第1期＞岸和田発のにんじん「彩誉」、包近の桃、岸和田産シラスやイカナゴなどを観光情報に取り込み情報発信し、販売促進につなげる。</p> <p>スポーツツーリズムを意識した展開 ＜第1期＞東京オリンピック・パラリンピック2020、および関西ワールドマスタースゲームズ2021を念頭に、本市ではBMXなどにおけるスポーツツーリズムについて研究しコンテンツに反映させる。</p>	<p>＜第2期＞継続。</p> <p>＜第2期＞継続。</p> <p>＜第2期＞継続。それぞれに地元ならではの料理の仕方、食べ方を情報発信する。</p> <p>＜第2期＞個別課題A:コンテンツの充実 3.体験交流型観光の推進に記載</p>
個別課題B:効果的なプロモーションの実施	5.観光情報発信の強化	<p>岸和田市観光振興協会公式サイト「岸ぶら」などのウェブサイト、SNSなどによる情報発信 ＜第1期＞岸和田観光のモデルコースやお土産などの情報充実と多言語化なども視野に入れ、宣伝活動を行う。</p> <p>ご当地キャラクターを活用した動画等による情報発信 ＜第1期＞有効な活用方法を調査研究しながら、情報発信を展開する。</p> <p>旅行事業者などへの旅行商品化の働きかけ ＜第1期＞本市の観光スポットや素材を提案し、旅行事業者などへのセールスを行う。</p>	<p>＜第2期＞継続。SNSを最大限に活用し、国内外からの観光客誘致に取り組む。</p> <p>＜第2期＞継続。</p> <p>＜第2期＞岸和田観光の商品化の実現を目指す。</p> <p>フィルムコミッションの推進 ＜第2期＞テレビや映画の製作会社への撮影支援を行い、岸和田城などの観光資源をロケ地として活用した魅力発信を行う。</p>

方向性	基本方針	＜第1期行動計画＞	＜第2期行動計画＞
同上	6. ターゲット発地でのプロモーション	<p>身近なターミナル拠点におけるプロモーション ＜第1期＞関西国際空港や南海電鉄難波駅などで、ターゲット属性にあわせた積極的なプロモーションを検討、実施する。</p>	<p>＜第2期＞継続。</p>
		<p>広域連携活動における発地でのプロモーション ＜第1期＞泉州観光プロモーション推進協議会、華やいで大阪・南泉州観光キャンペーン推進協議会などの他団体との広域的な連携を活用し、より広範な発地でのプロモーションを図る。</p>	<p>＜第2期＞平成30年度に設立されたKIX泉州ツーリズムビューローと連携し、広範な発地でのプロモーションを図る。</p>
	7. 広域連携の推進	<p>近隣市町との連携 ＜第1期＞近隣市町と連携し、エリアとしての相乗効果にて誘客を図る。</p>	<p>＜第2期＞継続。近隣市町と連携し、大阪関西万博を見据えた観光客の誘客に取り組む。</p>
		<p>DMO研究 ＜第1期＞泉州観光プロモーション推進協議会において進められている平成30年度のDMO設立に向けた研究に対し、本市でも歩調を合わせる。</p>	<p>＜第2期＞KIX泉州ツーリズムビューローのDMO化に向けて連携・協力をしていく。</p>
個別課題C：受け入れ体制の充実	8. 観光人材の育成 市、観光振興協会、商工会議所だけでなく、産官学連携した観光人材の育成に取り組む。	<p>職員向け研修の充実 ＜第1期＞現在も実施している「岸和田の魅力発見」等の受講者増を目指し、職員の人材育成を図る。</p>	<p>＜第2期＞継続。</p>
		<p>講演会、ワークショップなどを通じての人材育成 ＜第1期＞岸和田市の魅力に精通した講師を招くなど、人材発掘を意識したワークショップやまち歩きを開催し、人しるべとなる人材を育成する。</p>	<p>＜第2期＞継続。</p>
		<p>ボランティアガイドのさらなる充実 ＜第1期＞基本的なスキルアップのために、ガイド人材、組織の充実、インバウンド対応について調査研究する。</p>	<p>＜第2期＞継続。外国人観光客をはじめとする観光客のニーズの多様化に対応し、観光客へのおもてなしの機運を醸成することで、観光の魅力向上や観光客の満足度の向上に取り組む。</p>
		<p>岸和田市観光振興協会の独自事業の充実 ＜第1期＞岸和田だんじり会館、岸和田城などを活用し、岸和田市観光振興協会独自の事業展開を通じた人材育成を図る。</p>	<p>＜第2期＞継続。協会独自の事業展開を図ることにより人材育成に取り組む。</p>
		<p>教育機関との連携 ＜第1期＞大学などの教育機関と連携し、多言語による情報発信や世代・地域を広げた市場調査などを行う。</p>	<p>＜第2期＞継続。留学生などを活用したフィールドワーク等を通じて市場性の把握に努める。</p>
		<p>観光客受け入れ体制の充実 ＜第1期＞おもてなしサービスの充実を図るべく、アンケート調査を行い質的向上や多言語対応を行う。</p>	<p>＜第2期＞継続。国内外からの観光客を受け入れるプラットフォームとして、案内所機能の充実を図る。</p>